



職員ファーストの福祉？

ちいろば会理事 富田 忠一

10月15日火曜日発行の福祉新聞のコラム「一草一味 明日の福祉」に目が留まりました。見出しは「職員ファーストの時代に」 寄稿者は淑徳大学教授 結城康博氏 内容は以下のとおり『一部を除き、大半の福祉現場では保育士、介護職員、ケアマネジャー、看護師の人材不足に頭を悩まされている。このような現状において、少しでもサービスの質や供給量を維持するために、「利用者ファースト」から「職員ファースト」の理念を提唱したい。もちろん、福祉現場の末端で従事している専門職は利用者ファーストの理念を持ち続けるべきである。しかし、福祉施設の経営者や管理職は頭を切り替えるべきだ。今後、抜本的な福祉充実策が講じられない限り、職員ファーストに経営方針を切り替えていかなければ、一定の福祉サービスの提供ができなくなる。なぜなら、権利意識の強い利用者や家族からのハラスメントなどによって福祉従事者は精神的に疲れ、離職につながっているからだ。特に、理不尽な利用者対応を求められるという評判によって、福祉現場がますます不人気な職場となっている。多くの利用者は良識のある人たちである。しかし、一部のケースであっても、人材確保・定着に支障を来すのであれば、このような利用者にはサービス提供を控え、「利用者を選別」する覚悟で、経営者や管理職は臨むべきである。…中略…では、一部、処遇困難ケースなど選別された利用者は、誰が対応すべきなのであろうか。それは、措置制度を再興して市町村など直営の福祉サービスが担うべきと考える。そのため、市町村による直接的な福祉サービスの提供体制も提唱したい。』

結城氏自身もコラムの中で、多くの批判を受けることも承知していると述べておられますが氏の提唱内容への細かい批判は割愛するとして、社会福祉を専攻する学生の教壇に立つ社会福祉学者からこのような提唱がなされることに恐怖を覚えるとともに、こんな文章が「福祉新聞」に堂々と掲載される現状に大きな不安と怒りで一杯になりました。結城氏の提唱を真に受けるならば、「生きづらさを抱える人たちのための福祉(しあわせ)」から「職員のための福祉(しあわせ)」へと主体を入れ替える必要があるということです。福祉サービスの提供においても「利用者のための…」よりも「職員を確保するための…」職員が辞めないための…」を優先するような内容へ管理者や経営者はシフトしなければならぬ。そのためには、一部の手のかかる利用者を切り捨てる決断も必要であるということです。あまりにも深刻な人手不足の中においては、「背に腹はかえられぬ」選択なのかもしれません。また、利用者やそのご家族と意見対立することで職員が疲弊することも事実です。しかし、あまりにも主客転倒した提言を到底受け入れることはできません。多様なサービス提供主体が混在し、その上、人手もない今日の福祉サービスは自らの命を懸けて闘った障害者運動の先人たちが想い描いたものとは、どんどんかけ離れつつあります。(既になっている?)

福祉の本質が見失われつつある今日、福祉を生業とするなかまとともに、以下の言葉を噛みしめたいと思います。…「我々は、人類を貧困の恐怖及び欠乏の専制から解放し、地球を癒し安全にすることを決意している。我々は、世界を持続的かつ強靱な道筋に移行させるために緊急に必要な、大胆かつ変革的な手段をとることを決意している。我々はこの共同の旅路に乗り出すにあたり、誰一人取り残さないことを誓う。」[2015年9月25日 国連持続可能な開発サミット「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」]



～ 1 票 の大切さ ～

グループホーム 主任 米田 守

先日、グループホームの利用者の方々と衆議院選挙の期日前投票へいきました。

投票所へ行く前に 候補者や政党の訴えを選挙の広報紙をみながら吟味し、候補者や政党が訴えている内容や福祉政策・・・自分たちのグループホームでの暮らしを一番に考えてくれていそうな候補者や政党は？を考えて候補者と政党の名前を覚えて投票所に行きそれぞれ投票されました。

ニュースなどでは無関心で「誰に投票してもどうせ同じだ」「自分1人が投票したところでなにも変わらない」と言われている有権者の声を選挙のたびに耳にすることがありますが・・・もしこれまで投票に無関心で行かれてない人たちがみんなが投票に行けば今の政治なんてすぐにひっくり返すことができるのです！。

今の政治は腐りきっていると言っても過言ではありません。裏金議員、差別発言、特定の団体との特別なつながり など世間では通用しないことが国会ではあたりまえのようにおこなわれています。政治家たちが「日本の景気は上向きで日経平均株価が過去最高値を更新した」と訴えて喜んでいますが・・・一部の富裕層や投資家、大株主や大企業だけが利益を得ているだけでほとんどの国民にはなんの影響もなく、そんなマネーゲームに踊らされている政治家たちに自分たちの将来、生活を託さなければならない現状です。高齢化や少子化がすすむなかこのような状況で景気なんて良くなるはずもありませんし 格差社会が一層すすむばかりです。現実に9人に1人の子供が貧困状態で満足に食事ができない子供がこの国にあり、10代や20代の将来ある若者たちが頻繁に強盗事件を犯しています。

ちいろば会の法人研修では 障害がある人もない人も共に生きづらくなならない社会、暮らしやすい社会をつくる=福祉、差別の解消=生きづらくなる原因や暮らしづらい原因を福祉サービスに繋げる必要性があると 統括管理責任者(富田)からの教訓で学んでいます。障害がある人もない人も共にみんなが幸福と思える社会を追求していくことが私たちの使命(仕事)です。今回 グループホーム利用者の方々も「グループホームに入居して良かったなあ」と思える、安心して豊かに暮らしていけるグループホームでありつづけるために「1票の大切さ」を思い投票に行き政治に参加されていました!!。

—ばくも わたしも みんなが主役— しゅやく

- 質問① しつもん 名前と年齢は？ なまえ ねんれい
 質問② しつもん 今はだれとどこで暮らしていますか。 いま
 質問③ しつもん 家族にまつわるエピソードは？ かぞく
 質問④ しつもん 学校、就労時代のエピソードは？ がっこう しゅうろうじだい
 質問⑤ しつもん 最近気になっていること、興味があることは？ さいきん き きょうみ

- ① ふじはらとむひさ 藤原智久52歳です。 さい
- ② じっか 実家でお父さん、お母さんと3人で暮らしています。 とう かあ にん
- ③ いぜん りよこう 以前は旅行が好きでいろいろな所へ家族で行ったけど、今はお父 いま
 さんが病気で行くことが出来ないので、一人で電車に乗って出か びょうき い
 けます。 ひとり でんしゃ の
- ④ さんごうちゅうがっこう うんどうかい 三郷中学校の運動会でお尻で風船を割る競技がありました。怖かったけど しり ふうせん わ きょうぎ こわ
 周りの人たちが励ましてくれて勇気を出して割れました。 まわりのひと いたが げんき だす
- うえむらぼくじょう はたら 植村牧場で働いていました。牛のうんちを運んだり、餌をあげていました。力持ちで、 うし はこ えさ
 早く動けるから暑い日も寒い日も頑張りました。同じ食品製菓グループの吉村さんも ちからち
 一緒に働いていました。 いっしょ はたら
- ⑤ りよこう 旅行やコンサートが好きです。ピープルファースト大会のバンド演奏でギターがカッコ す
 よかったから、ギターのコンサートも行きたいです。 たいかい えんそう



- ① しおみ えり 塩見巴理40歳です。 さい
- ② じっか 実家でお父さん、お母さん、犬のバルちゃんと暮らしています。 とう かあ いぬ
- ③ けっこん 結婚した妹がいます。小さいころから仲が良くて頼りになります。 いもうと ちい
 今は名古屋に住んでいて、お正月に帰ってきます。私は姪っ子と いま なごや す
 甥っ子に洋服を作ってあげます。お父さんの会社の人とも わたくし めい こ
 遊んだり出かけていました。 おい こ ようふく つく
- ④ しょうがっこう 小学校の時はたくさん友達が遊びに来てくれました。ピアノや茶道など とき
 いろんな習い事もしてました。夏休みの自由研究で妹と賞をとれたのが嬉しかったで なつやす しゅうけんきゅう いもうと しょう
 す。 うれ
- がっこう かよ ファッションの学校に通っていたのでスーツやドレスづくりを経験しました。 けいけん
- ⑤ えん かよ ちいろば園に通うことが楽しいです。お友達が来てお話しするのが大好きです。 たの
 みんなとこれからも旅行に行ったりイベントを楽しみたいです。 りよこう い たの



グループホーム支援者のマナーについて

グループホーム職員 増田 広正

そもそもマナーとは何？日頃の私を見てみるとマナーがないマナーを理解しないと思われ、それがグループホーム入居者にとって悪影響を与えられているのかもと恐縮し困り果ててしまう。私の70年間で振り返ると、「マナー」とはほど遠い人生である。病弱なこともあり甘やかされ放任されて育った。授業態度が悪くて小学校の先生にチョークを投げられ注意されたり、廊下に立たされたり悪ガキだった。若い頃は肩まで髪を伸ばし、破れたジーパンでサンダル履いて過ごし足は年中汚れていた。社会一般、世間常識やマナーに反し抵抗することが美德のようにも考えていた。だから今でも、マナーについて聞かれてハタと困惑するのである。『ちいろば便り』に投稿する資格などない、全くふさわしくない人間であろう。しかしまた逆に、この機会を与えられて幸運だとも言える。

マナーとは、一定の時代の一定の文化、一定の広がりや地域性をもった集団、社会における関係性、ルールや一般的に求められる他者への配慮。相手に不快感を与えず、共に楽しみ共に生きるための気遣いや行い。それは国の法律や会社の規則で定められたルールではなく、破って罰せられるものでもない。これまで人々が一緒に築き上げてきた、良き関係を保つために保つことによって自然と出来上がったもの。それがなければ、その社会、集団は既に壊れ去っていたであろうものである。

グループホームの中へ無愛想な顔で入ったり、そればかりか何の配慮遠慮もノックもせずプライベートな部屋にずけずけと土足で踏み込んでしまう。メンバーの恥ずかしい情報や人に知られたくないことを外に漏らしてしまう。また、障害者抜きの社会の常識やマナーを押しつけ、それを理解できなかったり守れない、受け入れないメンバーに身勝手な感情をぶつけてしまう等々。そんなことを支援者がしては、たちまちグループホームでの生活は崩壊してしまうだろう。

そうしたことに注意することを怠ることはもちろんできないが、その上、特に支援者として心掛けるべきは、より広い社会、地域社会とメンバーとの間に位置する自らの立場をしっかりと認識することだろう。メンバーと一緒にグループホーム内外で活動する際、出会う地域の人、特に変な顔をしたり無視する人に対してもこちらから積極的で笑顔で挨拶する。一方、挨拶しない、できないメンバーもいることを世間の人に理解してもらう必要もある。また、乱れた服装のメンバーに声を掛けたり支援したりする前に、まず自らの姿勢格好を正すべきだろう。私には反省点が多い。しかし格好ばかり気にしておれない。また、自分独自のスタイルを持っている人もいる。それを見て気分を悪くする、不快感を感じる側の感性を問いただしてもらう必要もあるだろう。

グループホームメンバーに対し不快感を与えないように気を配ることも必要だ。それがいかなるものなのかを身を以て外の世界、地域社会に示す必要がある。

大きな声を出してしまう人もある。地面に転がったゴミが気になる人もある。そんな場面でどういう態度を取るべきかを我々支援者が示していく必要があるのである。支援者がメンバーに不快感を与えるようなことをしておれば、それを見て地域の人もマナーを身につけることができず、メンバーは一般社会、地域社会の中で楽しく生き生きと暮らすことが難しくなる。

メンバーも含めた社会における人と人との関わり方を、相手に気遣い良き関係を作り維持するためのマナーは、それこそ具体的な接触、交流で見出していくものである。それはまた空間的にも時間的にも変化発展していくもの、一緒に編み出していくものであろう。そのためには互いの特性、立場を具体的に交流しながら理解し合うことが必要であろう。メンバーも支援者も一般の人互いに気づいたことを出し合い共に良いマナーを身につけていきたい。

いただきます



「初めての外出」

ちいろば園職員 堀 求基

私は4月からちいろば園で働き始めました。普段は軽作業2階の利用者さんと一緒に作業をしています。今回、初めての外出で、普段一緒に過ごしていないYさんとピープルファースト大会と一緒にいくことが決まりました。当日までの間、何度か昼食を一緒に食べたり、そのあともお昼休みを一緒に過ごす機会を作っていました。

Yさんとかかわりは、予防的支援が必要だと先輩職員に聞いていたけどYさんはちいろば園の中ではいろいろなことができるけれど、ちがうところではどう動かかわからず、不安なように見えた。そこで、Yさんは私の手を持ってずっと一緒に過ごした。(はじめは全体会の中になかなか行けなかったけど、先輩職員がおちつける場をみつけてくれたので、約1時間ほど全体会の雰囲気味わうことができたのでよかった。Yさんいつもと違う場所では不安を感じていることを知ることができた。

最初に先輩職員から交流会は大丈夫だろうと聞いていたが、実際はYさんがなかなかみんなの中に入ることができなかった。その時も先輩職員が迎えに来てくれて、中に入ることができた。Yさんが知っている職員がいるだけで少し安心感を感じているように見えました。

2日目は当事者が主体に考えて意見を出し合っていた。その分科会の進め方は、当事者が主体でみんなが話しているのを聞いてちいろば会の理念である、利用者さんが主体と言う意味の大切さを知ることができた。

ちいろば園ではみんなの会があり利用者さんが主体的にできるように支援していますがその事の大切さを感じた。利用者さんが主体的にまた、自分のやりがいを持ち生活をする事の大切さも知ることができた。

最後に今回の外出で当事者のみんながとてもイキイキしている姿を見ることができ、ちいろば園の利用者一人一人がイキイキと生きていける場を作れるように職員全員で協力して行きたいと思います。





ピープルファースト大会 in 奈良

ちいろば園職員 山下 淳一

10月12日、13日にピープルファースト大会が開催されました。

今回は6年ぶりに奈良での開催ということで、全国から900人以上の参加者が集まりました。



ちいろば園としては今回、現地実行委員会（あつまり隊なら）にみんなの会から辰巳さん、田口さん、梶原さん、山田さんが準備から参加されました。ちいろば園全体としては、12日に行われた全体会と交流会のみの参加になりました。

今回は最高裁において、旧優生保護法の規定を憲法違反としたうえで、国に賠償を命じる判決が出たということもあってピープルファースト大会でもそれをふまえた報告がありました。



そのような喜ばしいことがある反面、現在でも数多くの人権侵害や差別があることをあらためて知りました。ひとりではなかなか声もあげにくいですが、ピープルファーストのように多くの仲間たちが声をあげていけば、きっと変わっていくということ全体会に参加して実感しました。

私個人としては、1998年の第5回奈良大会以来の参加でした。当時は長野県上田市にある小規模作業所の職員として、メンバーや支援者とともに参加しましたが、その時の湧き出るパワーや、自由に表現する姿に大いに刺激を受けたことを覚えています。

その頃と比べておとなしくなったような気もしましたが、「自分たちのことは自分で決める」「言いたいことを言い合える」をもっと支援できるようにしていきたいとおもいました。



2024

ちいろばクリスマスコンサート

～チェンバロ^{れんだん}連弾とフランスクラヴサン^{おんがく}音楽のひと時^{とき}～

にちじ 日時 2024年12月14日(土)
 かいじよう 開場 14:30 かいえん 開演 15:00
 かいじよう 会場 ちいろば園

ならけんいこまてんうんごうちようせやきた
 奈良県生駒郡三郷町勢野北5-6-14

えんそうしや
 ～演奏者～

ちェンパロ: こうの こ
 河野まり子



よこいすずか
 横井鈴香

プログラム

J.S.バッハ:オルガンのためのプレリュードとフーガ ト長調 チェンバロ 4 手用 BWV541

L.クーブラン:組曲第6番ハ長調

A.フォルクレ:クラヴサン組曲より

J.デュフリー:クラヴサン組曲より

G.F.ヘンデル:オルガンコンチェルトチェンバロ4手用 第10番 ニ長調

W.A.モーツァルト:4手のためのソナタ ハ長調 K.521

おとな えん しょうがくせい い か えん
 ★大人:1200円 こども:(小学生以下)1000円

えん あい そのようちえん よやく はんばい
 ★チケットはちいろば園、愛の園幼稚園で予約・販売しています

よやく はんばい と あ き えん
 ★チケット予約・販売 お問い合わせ先 ちいろば園 Tel 0745-72-1923

えん おうじえききたかん そうびい りよう きぼう かた じぜん もうしこ くだ
 ★ちいろば園⇄王寺駅北間 送迎します。利用をご希望の方は事前にお申込み下さい

い おうじえききた はつ かえ しゅうりょうごはっしや
 行き... 王寺駅北 (14:15発) 帰り... コンサート終了後発車

☆^{こうえんかいひ}後援会費・ちいろばだより^{ねんかんこうどくりよう}年間購読料 (2024年8月1日～2024年9月30日)

ありがとうございました。

篠原範子、兼平淑子、梶谷るり、権利擁護支援センターななつぼし、甲斐眞知子、
ちいろばまつりボランティア(焼きそば、かき氷)のみなさん、佐藤菜月、由浅昌江

^{いじょう}以上 ^{けいしょう}敬称は略 ^{りやく}させていただきます

2024 ちいろばクリスマスクッキー



^{ふくろ}1袋 ^{えん}380円

^{しゅるい}2種類のクッキーが^{はい}入っています

★マカダミアナッツ&チョコチップクッキー

マカダミアナッツが^{はい}たっぷり入った

とってもリッチなクッキーです。

★ココアクッキー

バンホーテンココアとクーベルチョコ^{しょう}を使用した

^{のうこう}濃厚なクッキーです。

※^{かみぶくろ}紙袋をご入用の方は一枚につき別途20円^{えん}を^{ちやうだい}頂戴します
^{かみぶくろ}紙袋のデザインは^{しやしん}写真と異なる^{こと}場合があります。

^{はんばいきかん}販売期間：11月25日～12月25日 ^{よやくうけつけちゆう}ご予約受付中！！

—ちいろばだよりの^{はっこうかいすうへんこう}発行回数変更のお知らせとお詫び—

諸般の事情により 2025年度より、ちいろばだよりの^{はっこうかいすう}発行回数を現在の年6回から年4回へ
^{へんこう}変更させていただきます。^{はっこうつき}発行月は、5月、8月、11月、2月です。

^{りかいたまわ}ご理解賜りますようお願いいたします。

KSKS ちいろばだより

編集人／ ちいろば会後援会

年 6 回 頒価 50 円

連絡先／ 奈良県生駒郡三郷町勢野北 5－6－14

TEL：0745-72-1923 FAX：0745-72-1924

発行人／ 関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町 2－2 東興ビル 4 F